

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2011年9月号 通巻33号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2011

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

タヌキをほぼ同時に目撃する確率

非常に少ない近接目撃事例

タヌキだ！



近接目撃事例とは、「別の人が」「非常に近い時刻に」「非常に近い場所で」という3条件がそろった事例のこと。

東京タヌキ探検隊！にタヌキやハクビシンの目撃情報をメールしようとする時、「他の誰かが目撃している、既にメールしてるんじゃないか？」と迷う人がいるかもしれません。実際はというと、そのような確率は極めて低いのです。東京タヌキ探検隊！のデータベースには現在1700件以上の目撃情報が記録されていますが、「別の人が、非常に近い時刻に、非常に近い場所で」目撃したという事例はたったの2回(いずれもタヌキ)しかないのです。このような珍しい事例は「近接目撃事例」と呼んでいます。

たった2つの事例

事例のひとつは渋谷区でのものです。時間差は約15分、直線距離で約50mでした(DBN364、365)。この周辺ではタヌキは定住していないと考えられるため、確実に同一個体と言えます。

もうひとつは世田谷区で、時間差約10分、直線距離約130mというも

のでした(DBN1345、1346)。距離は離れていますが、走らなくても十分移動できる距離です。タヌキの移動方向も矛盾しておらず、やはり同一個体だと考えられます。

1700件の目撃情報があっても、同じ個体をほぼ同時に目撃することは非常にまれなのです。いや、実際には同じタヌキを多くの人が目撃したとしても、それを東京タヌキ探検隊！まで連絡してくれるのはほんの少しだけなのでしょう。誰もが東京タヌキ探検隊！のことを知っているわけではありませんし、知っていてもメールを出してくれるわけではないからです。

ですから、目撃情報をメールしようかどうか迷わないでください。他の誰かがメールをする可能性は極めて低いのです。もし近接目撃事例になったならば、それはそれで非常に価値のあるものです。タヌキやハクビシンの行動範囲や移動速度などを推測する材料になるのですから。

(※「DBN」とは東京タヌキ探検隊！のデータベースに記録されてい

る目撃情報の通し番号です。全国、全動物を対象に番号が付けられています。)

近接でない事例

3つの条件がそろわない事例は非常に多くあります。例えば民家の庭に毎晩来る、という状況は時々発生しますが、「別の人が」という条件が当てはまりませんので近接目撃事例にはなりません。「別の日に近い場所で目撃」という事例は当然多くあります。

多数の目撃情報を得られても、それは現実のほんの一部を見ているだけにすぎません。もっともっと多くの目撃情報が求められるのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>